

北海道ロングトレイル フットパス講演会

定員
100名
入場無料

北海道の「歩く旅」を考える

2008
2/29 金

14:00~16:00(受付/13:30)

札幌センタービル
5階C会議室

■札幌市中央区北5条西6丁目2-2
■011-205-5630

事前申込み先

特定非営利活動(NPO)法人
コミュニティシンクタンクあうるず(担当/部司)
●TEL 0155-67-6305 ●FAX 0155-67-6307
●E-MAIL gunji-mix@sr-hustle.com

近年、中高年や団塊の世代を中心として「歩く旅」が注目されています。多くの人々は「自然に親しみたい」「健康を維持したい」「気持ちにゆとりがほしい」など環境・自然、健康、癒しを求める行動動機があります。そのようなニーズを農村地帯の地域振興に生かすため、各地で「歩いて地域を巡る道」を整備する動きがあり、今後も農山村を周る旅の需要は一層拡大すると思われます。このムーブメントは、まさに国民の「歩く旅」のニーズに応えるものであり、北海道一周といった概念が人々のモチベーションをいっそう高めるものと期待できると推察されます。

そこでこのたび、北海道ロングトレイル・フットパス「癒しの道」を考えるシンポジウムを開催する運びとなりました。このシンポジウムでは、人々と地域が共生した、自然とともにあるロングトレイルの意味を、この国のランドデザインの視点で議論できればと考えております。

環境ジャーナリストで自然体験活動の普及の第一線で活躍されている岡島成行氏、アメリカのアパラチアトレイル3,500kmを踏破した加藤則芳氏、さらにアウトドアコンセプターとして、全国各地のアウトドア振興やロングトレイルの整備を推進されている中村達氏など、多彩なゲストをお迎えして、北海道の地域振興にロングトレイルが果たす役割について論議してまいりたいと考えます。つきましては諸事多端の折柄ではありますが、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基調講演 この国のランドデザインとロングトレイル

(社)日本環境教育フォーラム理事長、NPO自然体験活動推進協議会代表理事、ほか……岡島 成行氏

記念講演 アパラチアトレイルで考えた北海道のロングトレイルの可能性

作家、バックパッカー……加藤 則芳氏

講演 歩く時代とロングトレイルのマーケット

アウトドアコンセプター、ジャーナリスト……中村 達氏

地域からの報告 全道各地の事例紹介など

パネルディスカッション [パネリスト]

●岡島 成行氏 ●加藤 則芳氏 ●中村 達氏

[コーディネーター]

●菊池 貞雄氏(NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず 専務理事)

主催/NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず、アウトドアライフデザイン開発機構

後援/北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道地方環境事務所、北海道、北海道経済連合会、帯広市、新得町、上士幌町、社警町(都庁)
企画・協力/北海道バイオマスリサーチ(株)、(株)トム・エンタープライズ

北海道ロングトレイル フットパス講演会

北海道の歩く旅を考える

講師紹介

(社)日本環境教育フォーラム理事長、NPO自然体験活動推進協議会代表理事、ほか

岡島 成行 (おかじま・しげゆき)

1944年神奈川県生まれ。上智大学文学部ドイツ文学科卒業。69年読売新聞社入社、80年から環境問題専門記者となる。83～84年米・ワシントン大学客員研究員。88年チョモランマ登山取材団長として日本、中国、ネパールの三国合同登山に参加。同年、国連環境計画「グローバル500賞」受賞。90年解説部次長、92年地球サミット(ブラジル)に同社取材団長として参加。99年読売新聞社退社。現在、環境ジャーナリスト、大妻女子大学教授(環境メディア論)、社団法人日本環境教育フォーラム理事長、NPO法人自然体験活動推進協議会代表理事など。著書に「アメリカの環境保護運動」(岩波新書)など。

- 大妻女子大学岡島研究室 <http://www.home.otsuma.ac.jp/life/t01.html>
- 今井通子さんとの対談 <http://www.jeef.or.jp/riji/vol.6/vol.6.html>

作家、バックパッカー、NPO日本トレッキング協会常任理事、NPO信越トレイルクラブ理事、ほか

加藤 則芳 (かとう・のりよし)

1949年埼玉県生まれ。横浜市在住。出版社勤務を経て、八ヶ岳に移住。八ヶ岳の富士見高原の森に住み、森の生活を楽しみながら世界各地を歩き、国内外の自然や自然保護をテーマにした執筆活動を続けてきた。十数年来ジョン・ミュア研究にうちこみ、ジョン・ミュアの評伝『森の聖者-自然保護の父ジョン・ミュア』(山と溪谷社・小学館)を出版。また、95年夏には、カリフォルニア州シエラネバダ山脈を貫くジョン・ミュア・トレイル(340キロ)を一ヶ月かけて完全踏破。その記録をまとめた著書『ジョン・ミュア・トレイルを行く』(平凡社)が、1999年度「第8回JTB紀行文学大賞」を受賞。ほかにも多数の著書がある。

20数年前から夢に描き、10年来取材を続けていた、フットトレイルとして世界最長のアメリカ東部「アパラチアン・トレイル」3500キロを、2005年に6ヶ月をかけて無事、一挙踏破。現在、壮大なアメリカの歴史、文化、文学、政治論などを交えながら、踏破の記録を執筆中。この6月に平凡社より刊行予定。

- 加藤さんのブログです。 <http://www.j-trek.jp/kato/>

アウトドアコンセプター、ジャーナリスト

中村 達 (なかむら・とおる)

1949年京都生まれ。滋賀県湖南市在住。(株)ネーチャーインテリジェンス代表取締役。日本アウトドアジャーナリスト協会代表理事、アウトドア産業教育研究会代表委員、東京アウトドアズフェスティバル総合プロデューサー、国際アウトドア専門学校顧問、NPO法人自然体験活動推進協議会理事、NPO法人比良比叡自然学校常務理事、NPO法人浅間山麓国際自然学校顧問、(財)全日本スキー連盟教育本部アドバイザー、(財)日本アウトワードバウンド協会評議員など。通産省アウトドアライフデザイン研究会主査、通産省ワールドアウトドアフェスタ実施検討委員、同フェスタ総合プロデューサー、国営あずみの公園運営懇談会委員(国土交通省)などを歴任。

- 中村さんのエッセイ(日清食品 トムソーヤースクール内)
<http://www.shizen-taiken.com/tnakamura/20040301.html>
- 中村さんの対談(京の明日を語る)・最後のほうです。
<http://www.digistyle-kyoto.com/enveronment/envlist.htm>